

令和8年度

三庄小学校

「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ・思考力、判断、表現力を高め、主体的に学ぶ意欲の向上を図る。
- ・学校及び家庭における学習習慣と読書習慣の更なる定着を図る。

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○課題に対して、学習したことをもとに意欲的に解決しようと取り組むことができる。 ○基礎的な学習に、粘り強く取り組むことができる。 ●語彙や経験、知識が少なく、問題の趣旨や長文の内容を読み取る力や要点をまとめて書く力に課題がある。	・基礎的、基本的な知識・技能を身に付け、生活や他教科と関連付けて力を発揮できるようにする。 ・語句の意味だけを理解するのではなく、生活の中で活用できるようにする。	・辞書を日常的に活用し、語彙力の向上をさせる。 ・学力向上プリントやタブレットドリルを活用して、長文を読み取ったり、自分の考えをまとめたりする学習に取り組む。 ・少し長めの文や難しめの文を区切って読む練習し、文章に親しむ機会を増やす。 ・町立図書館や読み聞かせグループの連携により読書活動の充実を図る。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○自分の考えを書いたり、少人数間で発表したりすることができる児童が多い。 ●問われていることに対して、必要な情報を取り入れたり、自分の考えをまとめたり、他の意見から発展させたりすることに課題がある。	・目的意識をもって、自分の考えを伝えようとするができる。 ・文章問題や活用問題を、想像を巡らせて、粘り強く解くことができる。 ・各授業で、話し合い活動等を通して、自分の意見と友達の意見を比べ、類似点や相違点に気付き、問題解決に生かしていくことができる。	・「よみとくらボ」を設定し、学力向上プリント等を活用し、諦めずに課題解決できる力を身に付ける。 ・「NIEタイム」等において、文章を読んでも、思考を深め、自分の考えを表現する力を身に付ける。 ・アウトプットのゴールを明確化する。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○決められた課題に対して、真面目に取り組むことができる。 ●文章問題や少し内容が複雑な問題について、粘り強く考えたり、想像を巡らせて、順序立てて解くことが苦手で、諦めてしまう児童が少なくない。 ●自ら課題を見つけて、解決しようとする力が不十分である。	・間違うことを恐れずに、自ら課題に向けて解決しようと粘り強く取り組むことができる。	・PBSの手法を用いて、児童を賞賛することで、学習意欲を向上させる。 ・ペア学習で自分の考えを発表してから、全体に発表する。 ・自分ができるようになったことを振り返り、自信をもって学習に取り組めるようにする。 ・家庭学習で課題について各自が調べたことを授業に生かして主体的な学びを深める。			